

知ってトクする
生活情報

夏休み 親子で新聞習慣

～よく読む子ほど成績が良い！～

パソコンやスマホで、ピンポイントで情報が検索できる今だからこそ、小学生にはさまざまな情報を一覧できることが大切です。興味のあることだけでなく、「バランスのよい食事(情報)」に触れ、知らなかった世界への扉を開くのが、毎日小学生新聞です。



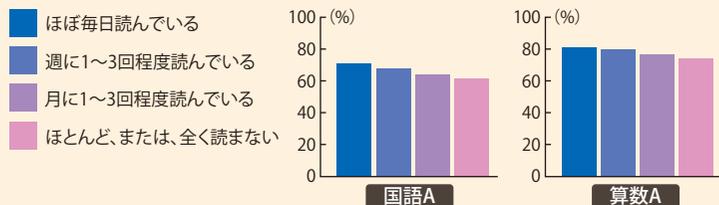
よく読む子ほど成績良い

2013年度全国学力テスト結果、文科省が分析

「新聞をよく読む子どもは勉強もできる」。2013年度の全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果を文部科学省が詳しく分析したところ、新聞をよく読んでいる子どもほどテストの成績も良いことが分かりました。

新聞を読む習慣が身につくことで、**読解力がアップし、さらに社会に対する関心も養われる**ことから、それが学力アップに結びついたと考えられます。

新聞を読む習慣と全国学力テストの平均正答率の関係(小学6年生)



「全く読まない」と大きな差

「新聞をほぼ毎日読んでいる」と答えた小学6年の国語A(基礎)の平均正答率は69.4%。「週に1~3回程度読んでいる」67%▽「月に1~3回程度読んでいる」63.1%▽「ほとんど、または、全く読まない」59.3%。新聞を多く読む児童の方が正答率が高く、**毎日読む児童と全く読まない児童では10ポイントの差**がありました。国語B(応用)も同様の傾向で、「毎日読む」が55.8%だったのに対し、「全く読まない」は45.7%でした。

国語・算数とも高得点

国語のみならず算数でも正答率に差が出ていました。小学6年の算数Bでは「毎日読む」が64.6%。「全く読まない」は54.9%でした。**中学でも同じ傾向**がみられました。

受験に役立つ連載も

一部抜粋

■ 時事問題対策に

「小学生でも、**社会とつながる意識を持ってほしい**」と、難関私立中高一貫校の校長先生は口をそろえます。社会とつながる毎日小学生新聞を読めば、時事問題対策が毎日できます。

■ 公立中高一貫校向け

適性検査は、**思考力や表現力などを試す**内容。与えられた資料を読み解き、理解して表現する力は、一朝一夕には育ちません。毎日、新聞を読む習慣をつけましょう。

■ 将来の大学入試にも(達成度テスト)

今の小学生世代が受験する頃、大学入試センター試験は「**達成度テスト**」(仮称)に変わります。**暗記だけの勉強では通用しません**。お子さんの思考力を育てるために、新聞を子に手渡してあげましょう。

※「毎小読み方ガイド」より抜粋

三宅新聞店では、毎日小学生新聞の試読1週間無料キャンペーンを実施しています。また、「毎小読み方ガイド」も希望者へ無料でプレゼントしています。お問い合わせは三宅新聞店まで。